

私の留学体験記

広島県立呉宮原高等学校 1年 川西 彩水 (かわにし あやみ)

留学期間 平成30年3月8日～平成30年3月21日 (14日間)

留学先 マウントアナンハイスクール (シドニー, オーストラリア)



私は今回、オーストラリアへの留学で日本と同じところや違うところをたくさん見つけることができました。1つ目は食事です。朝はパンにはちみつやピーナッツバターをぬった物や、シリアルといった軽いものでした。昼は学校がある日はサンドイッチで、休日は外食でした。夜は日本のようにたくさんのお皿に料理が

のっているのではなく、1枚のお皿に茹でた野菜やお肉がのっているものでした。日本のように時間をかけて作るのではなく、短時間でできるシンプルなものでした。レストランに行った時はどの料理も山盛りで、みんな食べきれずたくさん残していました。オーストラリアの人は常に何かを食べていて、お菓子は出かけるときは必要アイテムでした。2つ目は学校です。まず、黒板ではなくホワイトボードにプロジェクターで教科書を映していました。授業は日本のように静かにうけるのではなく、生徒が積極的に質問をします。授業中は携帯で音楽をきいたり、電話をしている人もおりとても自由な感じでした。ピアスやタトゥー、化粧をしている生徒もたくさんいました。学校生活で驚いたことはトイレが2回ある休憩時間以外鍵がかかっていることです。授業中にトイレに行って帰ってこない生徒がいるからという理由を聞いてびっくりしました。

ホストファミリーと2週間過ごしてホストファミリーの方はたくさん私に話しかけてくださいました。しかし、言いたいことはあるのにそれを上手く英語にできず、伝えることができないことが多くありました。ホストファミリーの方が言っている意味が理解できなかったり、聞き取れなかったりと一番コミュニケーションに苦戦しました。なんとか伝えようと身振り手振りを使っている私の話を一生懸命に聞いてくださり、伝わったときはとてもうれしかったです。オーストラリアのいろいろな場所に連れて行ってくださり、日本ではできない経験をたくさんすることができました。

短い期間でしたが、今回の留学は私にとってとても大きなものになりました。自分から積極的に話しかけて頑張って伝えようとする大切さ、異文化を理解することを学ぶことができました。素敵な友達にも出会うことができました。これからもっと英語を学び、機会があればまた留学をしたいと思います。

